

第Ⅷ回 日本ケアマネジメント学会 ケアマネジメントスキルアップ研修会

ターミナルケアのケアマネジメント: ACP とグリーフケア

【研修の目的】

ひとり暮らしと認知症が増える中で、日本は多死時代を迎え高齢者の12%が在宅で最後をむかえています。平成30年度の報酬改定では在宅がん末期のケアマネジメントに加算ができました。国は平成30年2月に患者の意向を尊重した終末期のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)を新たにうちだし、従来の医療関係職に加えケアマネジャー・介護スタッフ等含め繰り返しご本人を中心に終末期のケアに関して話しあい、自己決定を支援することになりました。また、大切な人の死に向き合う家族への寄り添い(グリーフケア)や介護職やケアマネジャーのメンタルヘルスに目を向けターミナルケアのケアマネジメントの研修をしていきます。

(認定ケアマネジャー資格更新に必要な実績点 10点付与)

【大阪会場】平成31年2月24日(日)受付9:30 10:00~16:30

＜会場＞【大阪会場】ATCエイジレスセンター ITM棟11階 セミナールーム*学会HPに地図掲載

＜参加費＞ 会員5000円 非会員8000円 定員120名 *キャンセル後の返金はできません。

＜申込締切＞ 定員になり次第締切ります。

【プログラム】

| 時間 | 研修内容 | 講師 |
|-------------|--|---|
| | | 総合司会：柴山志穂美理事 |
| 9:30~10:00 | 受付 | 担当：学会事務局 |
| 10:00~10:05 | 開会挨拶 | 服部万里子 理事 |
| 10:05~12:30 | 基調講演：在宅におけるターミナルケアご本人の意思決定支援 (北海道家庭医学センター栄町ファミリークリニック) | 中川 貴史氏 |
| 12:30~13:30 | 昼休み | |
| 13:30~16:30 | シンポジウム：ターミナルケアのケアマネジメント 1. 認知症の発症からエンド・オブ・ライフ「ケアマネジャーの育成～ (公益社団法人京都府介護支援専門員会) 2. 施設における看取りとグリーフケア支える側の課題(和歌山社会福祉法人神愛会、愛の園 ケアマネジャー) 3. 家族から見た終末期の生き方支援(天声人語の辰濃和男の生き方) 4. ホームホスピスからの発信(神戸市なごみの家) 5. 在宅の看取りとケアマネジメント(大阪認定ケアマネジャー) | 司会：落久保裕之 理事 高木 はるみ氏 崎山 賢士氏 辰濃 哲郎氏 松本 京子氏 菊澤 薫氏 |
| ~16:30 | アンケート 閉会挨拶 | 羽石 芳恵理事 |

注)プログラム・講師等は変更になる場合もございます。予めご了承ください

★本学会研修委員 委員長 服部 万里子(日本ケアマネジメント学会理事 NPO 法人 渋谷介護サポートセンター-事務局長)
委員 落久保 裕之 (日本ケアマネジメント学会理事・落久保外科循環器科クリニック院長)
羽石 芳恵 (日本ケアマネジメント学会理事・野口(株)介護ショップ ハーティケア 主任介護支援専門員)
柴山 志穂美(日本ケアマネジメント学会理事・埼玉県立大学准教授)

学会ホームページからお申込みください。